

そして、最後の5年生は6年生の思い出を振り返って、思い出運動会ダンスを披露してくれました。6年生は思わず「懐かしい〜!」「かわかったなあ・・・」と。一生懸命練習し、次は私たちだという5年生全員の意気込みを感じました。きっと、今年の6年生のように、次年度の桜塚小学校を引っ張ってくれるだろうと思いました。

素敵なひとときでした。卒業まであと1週間、たくさんの思い出を作ってくださいね。

最後の授業参観、ありがとうございました!

たくさんの方に参観いただき、ありがとうございました。どの学年も1年間のまとめ、頑張ったこと、成長したことなどの発表でした。毎年、4年生はこの日に「二分の一成人式」をします。今年は体育館で学年全員、保護者と対面で開催できました。



二分の一成人式

「10歳の壁」という言葉があります。視野が広がったり、友達関係が深くなったり、抽象的な思考が求められたりして、子どもは突然乗り越えられない壁ができたように感じるのです。これまでであれば、大人(父・母・先生など)の言うことは正しいと思うことができたのですが、本やテレビからの情報等により、何が正しいのかわからなくなります。現在はスマホがありますので、情報量は大人の私たちが生きてきた時代よりはるかに多いので、今の子どもたちは余計にどう処理をしていいのかわからなくなります。

また、友達関係に変化が生じます。今までであれば、楽しいこと等の遊びでつながっていた関係が、価値観や嗜好、考え方、感じ方などでつながろうとします。だから、遊び仲間が変わりってきます。今まで何となくつながっていたのですが、うまくできなくて友達のことが気になり、友達にとっても気をつかいます。そして、誰よりも友達をととても大切にしようとする。

学習面でも具体的にイメージしにくい内容になります。長さ10センチメートルの鉛筆というと、実際に見ることや頭の中でイメージできますが、10キロメートルの距離となるとどこまでのことがわかりません。国語でも、3年生ぐらいまでの教科書であれば日常的によく使っている言葉なので意味がわかりますが、4年生以上になると分からない言葉がたくさん出てきて国語辞典を引かないと理解できません。普段使わない言葉がたくさん出てくる文章を読んでも何が書いてあるかわからないということになり、勉強が突然難しくなったように感じます。

これは、大人になる門をくぐったからです。自分の行動の半分は自己責任になり、善悪の判断も自分で考え、納得した答えを追究します。悩み事が増えますし、一つひとつのことが簡単に解決しません。でも、それをうまく乗り越えれば、何かに挑戦しようとする意欲や自己肯定感が高まり、自信を持つことができ、大きく成長していきます。

この門をくぐり、壁を乗り越えるには、「人と比べて自信を失わないこと(※競争は大事です)」「自分の好きなことや得意なことを見つけること」「困ったら相談すること」「将来の夢を描くこと」などが大切になってきます。ここまで、10年間見守り育ててくださった人に感謝し、生まれてきて良かったことを再確認しながら、少しずつ自分を見つめ、仲間とともに、夢に向かって成長して行ってほしいと願っています!そんな思いを込めて、桜塚小学校では「二分の一成人式」を行っています。

「じぶんがすき」「なかまとともに」「ゆめがいっぱい」



2月は逃げるように去っていききました。3月も去るように時が早く過ぎていくでしょう!

1月は往ぬる(過ぎ去る、行く)、2月は逃げる、3月は去る
と言うように、3学期はあっという間に過ぎていきます。早く過ぎ去るように感じるのは、太陽の出ている時間が短いからです。一番短い日を冬至(12月22日)と言いますが、太陽の出ている時間が9時間45分でした。一番長い日は夏至(6月21日)、太陽の出ている時間は14時間35分。夏でも冬でも1日は24時間ですから、太陽の出ている時間の差が4時間50分あるので、冬は1日がとても短く感じ、時が早く過ぎ去っていくように感じるのです。

1日には、**6年生を送る会**がありました。上の写真は6年生にとってもお世話になった1年生が感謝の言葉と「1年生になったら」の替え歌、中学校バージョンを楽しく歌ってくれたあと、見せてくれたパフォーマンスです。2年生は素敵な元気の出る歌を送ってくれました。3年生はリコーダー演奏、4年生は6年生の得意だった百人一首の桜塚6年生バージョンを詠み、百人一首大会を披露してくれました。

1日には、**6年生を送る会**がありました。上の写真は6年生にとってもお世話になった1年生が感謝の言葉と「1年生になったら」の替え歌、中学校バージョンを楽しく歌ってくれたあと、見せてくれたパフォーマンスです。2年生は素敵な元気の出る歌を送ってくれました。3年生はリコーダー演奏、4年生は6年生の得意だった百人一首の桜塚6年生バージョンを詠み、百人一首大会を披露してくれました。



- 「休み時間けがした時に先生を よんでくれてうれしかった」
- 「仲直りできないケンカそんな時 たすけてくれるみんなのあこがれ」
- 「委員会たのしいことをありがとう わたしたちもつぎがんばるよ」
- 「知らないことそうじの時間にわかること 教えてくれてりかいてきたよ!」
- 「委員会、企画や仕事をありがとう みんなのおかげでたのしかったよ!」
- 「歌声や組体操や演奏が 心にひびくすてきなすがた」